

ボードフェロープログラム 第4期

企業・個人向け参加者募集説明

2024年11・12月
一般社団法人World in You

目次

- 自己紹介
- World in Youについて
- ボードフェロープログラムについて

山本 未生

World in You共同設立者 & 代表理事



社会的ミッションを持つ組織の経営・組織づくりなどの伴走支援、NPO等と企業の協働機会づくりに、15年以上取り組む。

大学卒業後、住友化学に勤めながら、社会起業家支援を行い、ビジネススクール、マッキンゼー&カンパニーを経て、2011年、東日本大震災を機に現World in Youを共同設立。2013年より同代表理事。

国境やセクター、世代などの境を越えて、一人ひとりが社会を良くする一歩を踏み出すChange-making Communitiesを人生のビジョンとして活動。

2005年東京大学教養学部総合社会科学科国際関係論課程卒業。2013年MITスローン・スクール・オブ・マネジメントでMBA取得。

World in Youについて

World in Youが目指していること

ビジョン

世界の誰でも どこからでも より良い社会づくりに力を発揮しあう世界。

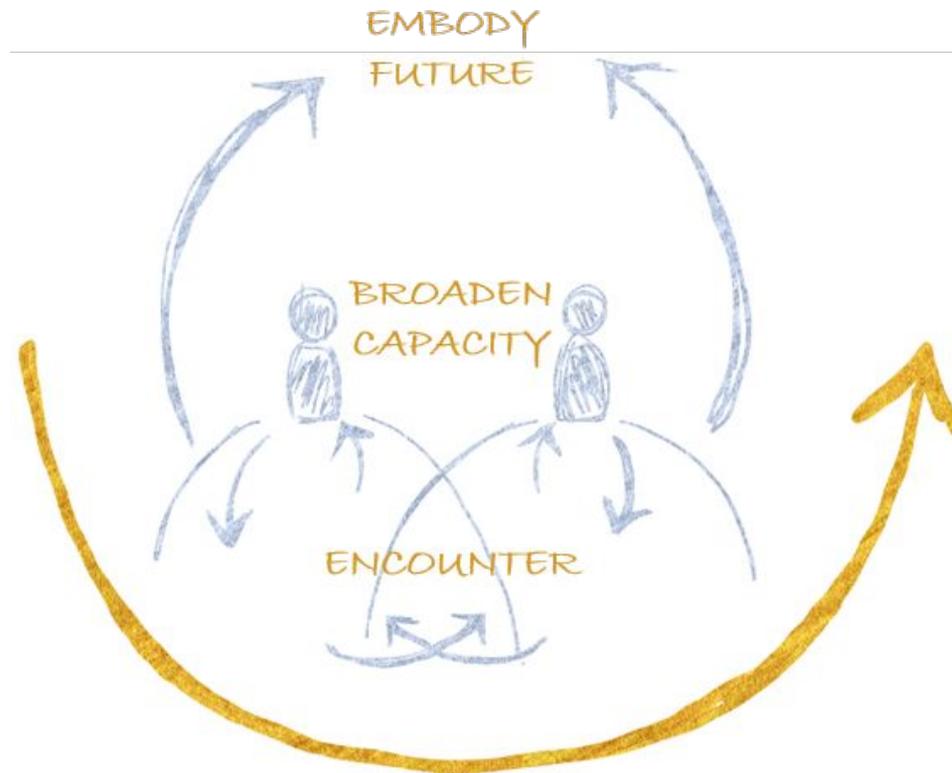
ミッション

組織・セクター・国などのさまざまな境界を越え、
より良い社会を目指して共創するリーダーや組織、
コミュニティを育てる。

<https://worldinyou.org/>



world in you × world in ○○



あなたの中の世界 (world in you) と他の誰か・どこかの世界 (world in ○○) が出会うことで、お互いの世界がより豊かになる、そして、より良い社会につながる

より良い社会づくりの伴走者

新たな視点でより良い社会づくりを目指すリーダー・組織・コミュニティと、これまでに培った知見・歴史・資産を活かしてより良い社会づくりを目指す人々・組織とを繋ぎ、共に実現を目指す伴走者です。



ボードフェロープログラムについて

プログラムを実施する想い・課題意識

より良い社会づくりを実現するために、セクターを超えて多様な人々が、各自の強みを活かし、社会課題解決へ向けて協働・創発することが必須

- NPOの強化** : 複雑な社会課題を解決するには、現場のフロンティアとして、経営・意思決定レベルの底上げが必須。その際に、自団体の限られた視点・リソースだけに頼らず、多様なセクターや人々を巻き込むことが有効。
- 経営人材の育成** : 社会課題のフロンティア で取り組む団体を経営目線で議論することは、これからの人材育成に必須。
- 個人の主体性** : 所属や目の前の役割に留まらず、社会課題を自分ごととして捉え、自分の強みや興味関心を把握し、多様な価値観や立場の人と協働 することが求められている。
- 企業の進化** : 持続可能な経営 のために、社会における企業の存在意義が問われている。社会課題を理解し、ソーシャルセクターを含む多様なセクターや専門性・経験を持つ人々と本質的な協働 をすることが求められる。

こんな方におすすめです！

- 自分の想いや経験を活かし、社会の課題解決に貢献したい。
- 社会課題や非営利組織についての学んだりネットワークをひろげたい。
- 人生100年時代、目の前の仕事や関係性に留まらず、多様な価値観や立場の人と協働したい。
- 複雑な社会課題に取り組むチャレンジングな議論を通じて、経営目線を実践しながらのぼりたい。

なぜ「ボード」、「ガバナンス」なのか？

ボード(理事会・取締役会)は、組織のガバナンスを担う代表的な意思決定機関です。ガバナンスというと、統治や管理監督をイメージする方も多いかもしれませんが、ボードをはじめとするガバナンスの仕組みは、単に不正を防ぎリスクをマネジメントするだけでなく、**より良い社会づくりに人々が力を発揮しあう場・メカニズム**としてとても重要です。(参考:『[非営利組織のガバナンス](#)』山本未生/WIT(現World in You)訳、英治出版、2020年)

多様な人々がその視点やリソースを、組織の意思決定やミッション実現に活かし、**社会的価値を創出するガバナンス (Governance for Impact)** を探求・実践していくことを私たちは目指しています。この探求・実践を共に行っていく仲間として、本プログラムの参加者・団体・World in Youが互いに理事(ボードメンバー)のような立場で関わることを指して「ボードフェロー」と呼んでいます。



プログラム参加者

多様なセクターの人々が、プロフェッショナル・パーソナルの両面で向き合うことで、視座・視野が広がり、互いの価値への認識・連携へのイメージが明確化され、ソーシャルインパクトが起こせる

第4期のテーマ： 子どもと未来が楽しみになる、孤立しない社会を地域で生み出す

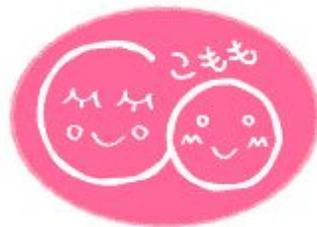
NPO 3団体

各団体(青森・沖縄・全国)から経営・意思決定を担う3-4名ずつが参加



希望を感じられる世の中に

ちゅらゆい

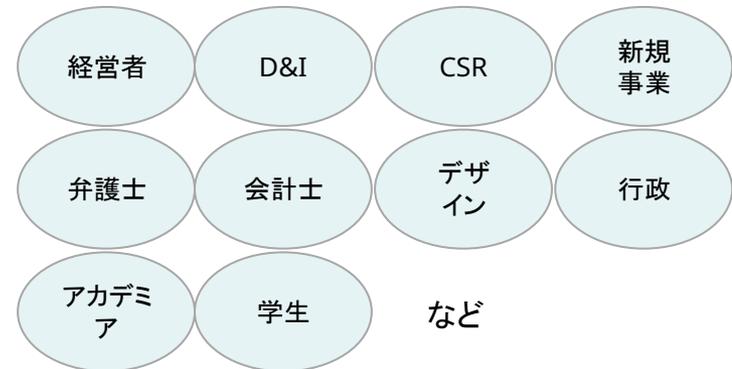


NPO法人チャリティーサンタ

Charity Santa

多様なセクター

多様な視点・強みを持つ個人約15名が模擬外部理事として参加



World in You

- ・NPOのガバナンスの知見
- ・団体・参加者の力を発揮するための場の設計、伴走

プログラムの開催テーマと団体

軸となるテーマを設定し、3団体から代表を含む3~4名ずつが参加

大テーマ: インクルージョン&エンパワメント

- ❑ 第1期(2021年): こどもを産んだ後も女性が本来の力を発揮し続けられる社会の実現
- ❑ 第2期(2022年): 多様な生き方やライフステージに合わせて、一人ひとりが社会で活躍し続けられる女性の働き方
- ❑ 第3期(2023年): 多様なバックグラウンドや状況の若者が選択肢を広げ、本来の力を発揮できる社会づくり

[NPO法人きずなメール・プロジェクト](#)

[認定NPO法人ノーベル](#)

[NPO法人マドレボニータ](#)

第1期



[NPO法人ArrowArrow](#)

[非営利型株式会社 Polaris](#)

[NPO法人ママワーク研究所・Work Step株式会社](#)

第2期



[NPO法人 サンカクシャ](#)

[NPO法人Waffle](#)

[NPO法人WELgee](#)

第3期



子どもと未来が楽しみになる、孤立しない社会を地域で生み出す



希望を感じられる世の中に

NPO法人 ちゅらゆい

NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい

「全ての人の尊厳が守られ、認められている社会」を目指し、子ども・若者をパートナーとして、「子ども若者アドボカシー」の実践、「社会的孤立問題」の解消、「多様な遊び」の創出を沖縄県を中心に行っています。不登校・引きこもり状態になり、社会的に孤立してしまった子ども・若者への居場所や学ぶ場の提供、就労支援に加え、普及啓発事業も行っています。



NPO法人子育てオーダーメイド・サポートこもも

「子育て共同体の再構築・こどもの育ちを保障できる環境づくり・子どもを理解し、粹で知的で優しく面白がれる大人を育てる・地域とのつながり」を大切に活動しています。子育てヘルパーを養成し、産前産後・子育て中の家族の家事などのサポート事業、子育ての悩みや産前産後の体験共有・学びあいをする「学viva」、親子で外遊びや仲間づくりを楽しむ「あそびば」の運営を青森県で行っています。

NPO法人チャリティーサンタ

「子どものために大人が手を取り合う社会」をビジョンとし、「子ども達に愛された記憶を残すこと」をミッションに全国で活動しています。クリスマスにサンタクロースに扮したボランティアが、小さなお子さんのいる家庭にプレゼントを届ける「サンタ活動」から始まったチャリティーサンタは、寄付を通じて、困難な状況にある子ども・保護者へも無償で取組を行う「支援活動」も行い、他のNPOや企業や自治体との連携によって生まれた「ブックサンタ」や「シェアケーキ」等の事業によりサンタ活動以外にも活動の幅を広げています。



参加者(第1~2期)

ビジネス、ソーシャル、アカデミアなど多様なセクターから、
若手から経営者まで世代を超えた参加者

第1期

石田 祐	宮城大学／認定NPO法人 社の伝言板ゆるる
宇津澤 紀子	一般社団法人ドゥーラシップジャパン
浦崎 めぐみ	株式会社NTTドコモ
大原 康子	クリエイティブマムズリンク
加藤 格	JPモルガン証券株式会社
黒川 あずさ	株式会社オレンジページ
小林 貞代	KODOMOLOGY株式会社
柴田 春奈	ロート製薬株式会社
清水 隆司	株式会社NTTドコモ
西村 仁志	パーソルキャリア株式会社
根本 剛史	西村あさひ法律事務所
橋本 和良	一般社団法人りぷらす
松山 亜紀	株式会社セールスフォース・ドットコム
丸木 崇秀	損害保険ジャパン株式会社
吉田 穂波	医師・医学博士・公衆衛生学修士

第2期

一木 典子	サントリーホールディングス株式会社
岡田 一輝	株式会社ユーザベース
岸本 英嗣	公益社団法人 Marriage For All Japan、 東京表参道法律会計事務所
鬼頭 美帆	Center for Systems Awareness
桐山 正弘	Mysurance株式会社
小西 彩華	創価大学
塩見 朋子	株式会社資生堂
シッピー 光	ソニーグループ株式会社
たぞえ 麻友	一般社団法人ウーマンシフト
田中 鉄朗	Accountability for Change
谷口 雅子	株式会社ベネッセi-キャリア
西原 里江	JPモルガン証券株式会社
橋本 大吾	一般社団法人りぷらす
松井 望	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
真鍋 考士	株式会社NTTドコモ
笠 淑美	一般財団法人 ウェルネスサポート Lab

参加者(第3期)、エキスパート・プロボノ

第3期

青木智宏	公益財団法人ベネッセこども基金、 株式会社ベネッセコーポレーション
宇野美奈	公益財団法人ベネッセこども基金、 株式会社ベネッセコーポレーション
落合典子	PLANET Boston Inc.
栗山智帆	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
児玉彩音	EY新日本有限責任監査法人
笹山脩平	西村あさひ法律事務所
嶋田 利佳	JP Morgan アセットマネジメント
鈴木修	株式会社高木ビル
西川文	ソニーグループ株式会社
ニーリー美穂	認定NPO法人シャイン・オン・キッズ
本多彰浩	多摩大学社会的投資研究所、 ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京
丸山祥子	一般社団法人日本ファミリービジネスアドバイザー協会
宮崎大輔	認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ、 NTT東日本
村田佳幸	サントリーホールディングス株式会社
安井章員	一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

エキスパート・プロボノ

石田祐	関西学院大学
岡田彩	東北大学
牧兼充	早稲田大学
一木典子	サントリーホールディングス株式会社
鬼頭美帆	Center for Systems Awareness

プログラム構成と特徴

6ヶ月間の学びと実践の 2本柱により、多様な視点 / 高い視座でNPOが抱えている本質的な問いについて、参加者は模擬理事としての立場から議論する

②【チームビルディング】
キックオフ(対面)

4月29日

- ・団体の現状を知る
- ・模擬ボードミーティングへの導入

①前半【学び】
動画学習 & 学びを深める会
(オンライン)

③後半【実践】
模擬ボードミーティング
(オンライン)

実践コミュニティ
任意で、協働・創発を応援・伴走が続く

2~4月

- 1) 個人のペースで、動画学習 (約45分) & 個人ワーク(約45分) * 6回
- 2) Zoomで、学びを深める会 (90分*3回)

5~7月

- 各団体が月に90分 * 2回 = 計6回実施。
- ・1か月毎に参加者が交代
 - ・開催日は参加メンバーで調整

<参加者のコミット時間の目安> ※キックオフ(対面)を除く

- ・前半: 3時間ほど/月
- ・後半: 4~5時間ほど/月 (模擬ボードミーティング 90分*2回+その準備 60分~)

動画学習のトピック

これまでの例
第4期は構成を変更予定



全員でNPOのガバナンス、経営、社会課題などの知識やフレームワークを学ぶ全体セッション

オンライン

ガバナンスの意義と ボードでの効果的な議論 の仕方	<ul style="list-style-type: none">● ガバナンスはなぜ重要なのか？● 効果的なボードが持つべき視座とは？● ガバナンス目線で議論するには？
社会課題をシステム として捉える（現状理解）	<ul style="list-style-type: none">● 社会課題を全体的に捉える視点にはどんなものがあるのか？ それらはどのように相互作用しているだろう？● 参加団体は取り組む社会課題をどう捉えてきたか？ パーソナルなレベルも含めて何が起きているのか？
社会課題を解決する ソリューション	<ul style="list-style-type: none">● 社会課題解決に取り組むアプローチにはどのようなものがあるのか？● 参加団体のエンドゲーム（最終的な組織や事業の形態とインパクト）は？
非営利・営利の違い・ 共通点	<ul style="list-style-type: none">● 非営利と営利の違い・共通点、それぞれの価値は？● 意思決定プロセスの特徴
社会にインパクトを もたらずリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none">● 社会にインパクトをもたらす「リーダーシップ」とは？● 互いのビジョンを重ね合わせる● 自分自身のリーダーシップ
創発的協働に向けて	参加者・団体・World in You同士の協働・創発に向けて、6か月間を振り返りながら、 <ul style="list-style-type: none">● 改めて各団体の優先事項とネクストステップを捉える● それぞれが今後取り組みたいことを共有・対話する

模擬ボードミーティングのアジェンダ例

団体のリアルな経営課題について模擬理事会を各団体が主催する
～過去のアジェンダ例～

毎月1回90分(オンライン)

- 経営体制や意思決定の仕組み
- 中長期の事業の方向性
- コア事業のビジネスモデル、新規事業開発、既存事業の拡大
- 企業や行政との連携
- 組織づくり、社内コミュニケーション
- 社会情勢の変化による活動ターゲットやビジネスモデルの再考

プログラムの成果

共に学び、経営課題の議論を通じて、自他の強みを知り、越境して協働する意義を理解し、協働・創発していく関係性が醸成されている

参加団体

- **経営や事業へのインサイト** : 経営・ガバナンス面での学び、多様な参加者との議論を通じて、今まで気づかなかった視点を得る。
- **経営・運営陣の強化** : 代表だけによりかからない組織づくり、共通言語の醸成、目線あわせ
- **プログラム後も協力する関係性** (理事やアドバイザーなど)

→システム全体を俯瞰して見渡す視座が得られ、ミッション達成に向けて、**団体外**の多様なリソースともつながり、より**本質的な意思決定**ができるようになる。

多様なセクターの参加者

- **NPOや社会課題の実態**を理解し、自分が**どう貢献できるか**わかる
- 参加団体等の**パッション・目的意識**に触れ、**モチベーション**アップ
- 共通する関心時を持つ、普段なかなか出会えない**仲間とのつながり**

→**社会に開かれたリーダー**として実践・成長する

- **所属する組織内や内外をつなぐアクション** がうまれている(サステナビリティ/DEIへの取り組みの推進、新規プロジェクト立ち上げ、社内ボランティアコミッティ)
- **個人として** ソーシャルセクターへの関わりが増し、それぞれの持ち場からの社会的インパクトが増す(プロボノ、理事など)

参加団体

外部の人とやりとりさせていただく中で、視野がグッと広がっただけでなく、**改めて自分たちが何者なのか？何を大事にしているのか？を言語化**できたことで、自分たちをより深く知ることに繋がった。

代表や経営者の考えや思いを理解することにより、普段の代表の発言や判断がどういうところからきているのかが理解できた。そうすることにより、現場が軽視されているわけではなく、それぞれの役割や立ち位置をポジティブに捉えられるようになった。

このプログラムがきっかけとなり、**組織や社会全体を改めて俯瞰**しようとしたり、また自分自身の**内省の機会**をいただくことができた。

いざとなったら相談できる人ができた。団体に変化するこのタイミングで参加して非常によかった。

多様なセクターの参加者

組織の在り方や**ボードとしてどういう視点で判断**していくか学べました。特に他のボードメンバーと異なる価値を出せるように、自分の役割を理解し、あえて**別の視点で物事を見ることの重要性**も理解しました。

自分事として考えて議論する機会を持てたことです。弁護士という職業柄、アドバイザーとして第三者的に考える機会が多いですが、仮想理事会として理事の立場として考えたり発言をしたりするのはとても新鮮でした。

以前であれば、非営利団体の理事をお願いされても断っていたかもしれないが、今だったら、営利も非営利も**皆悩みが一緒だと分かった**ので、何か**役立つことができるかもしれない**と思える。非営利団体の実態を知り、悩みが同じであることも分かった。

私自身が**普通に過ごしていたら絶対に出会っていないだろう**、これまでにご縁がなかった方々との出会い。様々なバックグラウンドを持った皆で一つの問いに向かえた。

社会課題のリアルに仲間と共に向き合い、 自分ごと化と行動変容を促す半年間

ボードフェロープログラム 参加ビジネスパーソンインタビューvol.1:

サントリーホールディングスCSR推進部
一木典子さん、村田佳幸さん



社会課題のリアルに仲間と共に向き合い、
自分ごと化と行動変容を促す半年間

SUNTORY



企業活動と社会貢献を繋ぐ、 越境リーダーシップ共創プログラム

ボードフェロープログラム 参加ビジネスパーソンインタビューvol.2 :

J.P.モルガン

加藤大さん、加藤格さん、西原里江さん、嶋田利佳さん

J.P.Morgan



企業活動と社会貢献を繋ぐ、越境リーダー
シップ共創プログラム

セクターを超えて紡ぐ新しい価値創造（前編） ～孤独な意思決定から共創のガバナンスへ～

早稲田大学ビジネススクール牧准教授 x World in You山本代表 対談



早稲田大学ビジネススクール 准教授
牧 兼充さん



一般社団法人World in You代表理事
山本 未生



代表への一極集中から組織化への挑戦 : NPO法人サンカクシャの半年間の軌跡

ボードフェロープログラム参加団体ケース紹介 vol.2

代表への一極集中から組織化への挑戦：
NPO法人サンカクシャの半年間の軌跡



異なる視点を受け止める大切さ： 第二創業期を迎えた認定 NPO法人マドレボ ニータの葛藤と奮闘

ボードフェロープログラム参加団体ケース紹介 vol.1

異なる視点を受け止める大切さ：
第二創業期を迎えた認定NPO法人マドレボニータの
葛藤と奮闘



参加費について

本プログラムは、参加する団体、企業、個人から参加費をいただいています。非営利団体も、組織づくりや人材育成に投資する文化を醸成していきたいとWorld in Youでは考えています。このため、参加団体からも参加費をいただき、団体への学びや組織改革に活かしていただきたく、複数名での参加をお願いしています。

以下の3段階の参加費の設定をしています。

- ① 企業からの参加(+個別企業に対しての研修含む): 50万円(複数名参加の場合はご相談)
- ② 一般価格: 30万円/名
- ③ 奨学枠: 応相談

※4月対面キックオフに関する交通宿泊費は参加費とは別で各自ご負担をお願いしております。

卒業生でのギャザリングの様子

